

■**円爾弁円(聖一國師)** 臨濟宗の禪僧で、東福寺の開山。公武の帰依者多く日本初の國師号。静岡茶の祖でもある。

えんにべんえん

・ ・ ・ ・ ・ 1202 = 駿河国阿倍郡大川村栢沢で平家一門の米沢家に生まれる。

**執権政治始**・1203 = 1歳 : 早くも人の言葉を聞き分けるほど聡明で、

**モンゴル帝国**・1206 = 4歳 : 両親から久能寺の堯弁法師に託されて童子となり、弁円と称したが、

・ ・ ・ ・ ・ 1211 = **9歳** :

**北条頼朝権立**1213 = 11歳 :

源実朝暗殺・1219 = 17歳 : 師の許しを得て、園城寺に入山し、半年で受戒、正式に出家して、円爾と改めた。

愚管抄・ ・ ・ 1220 = **18歳** :

承久の乱・ ・ ・ 1221 = 19歳 :

運慶没・ ・ ・ 1223 = 21歳 : ついで東大寺の戒壇院で受戒し、各地の名刹で修行を重ね、

親鸞真宗始・1224 = 22歳 : 栄西の法弟栄朝のもとで修行すべく、友僧栄尊と上野国長楽寺に入門、全てを授けられて、

一旦故郷久能山に戻る。この時、茶を持帰ったのが、静岡茶の始まりとなる。

**北条政子没**・1225 = 23歳 : 鎌倉に向けて出立、

公家将軍始・1226 = 24歳 : 寿福寺に入り、退耕行勇の門下らに黄竜派の禅を学び、

阿忍について密教も学んで、

・ ・ ・ ・ ・ 1228 = 26歳 : 秘印も受けたが、**疑問を抱いて、渡宋の志を抱くようになり、**

・ ・ ・ ・ ・ 1229 = **27歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 1230 = 28歳 : 渡宋準備中だった栄尊のいる長楽寺栄朝のもとに戻る。

**御成敗式目**・1232 = 30歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1233 = 31歳 : 四条天皇より渡宋の許可を得、栄尊とともに博多に向かって船待ち、

・ ・ ・ ・ ・ 1235 = 33歳 : **\*ようやく入宋し、癡絶道沖などに大陸禅を学んだのち、径山の無準師範に師事して、**

・ ・ ・ ・ ・ 1237 = 35歳 : **臨濟禅の法嗣者となった。**

鎌倉大仏始・1238 = **36歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 1241 = 39歳 : **\*膨大な經典や諸書を携えて帰国、横岳の崇福寺・肥前に万寿寺の開山に迎えられ、博多に承天寺を開創、**

**九州に禅を広めるうち、その法徳が京都にまで知られるようになり、**

**(南都の東大寺・興福寺に並ぶ)東福寺の建立を始めてまもない九条道家に招かれて上洛、その開山となる**

**。道家から法位を与えられるも固辞し、聖一和尚の名を贈られる。**

九条頼朝将軍1244 = 42歳 : 上野国長楽寺に栄尊を訪ねる。

・ ・ ・ ・ ・ 1245 = 43歳 : 「宗鏡録」を奏進する。

**北条時頼執権**1246 = 44歳 : 東福寺未竣工の間、道家が普門寺を建立し、円爾を住まわせる。

宝治合戦・ ・ ・ 1247 = **45歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 1248 = 46歳 : 承天寺が焼けたため博多に赴き復興させる。

引付衆始・ ・ ・ 1249 = 47歳 : 執権北条時頼の懇請で建長寺建立の地鎮祭を行う。

皇族将軍始・1252 = 50歳 : 東福寺落慶を見ずに道家が死去。

日蓮宗始・ ・ ・ 1253 = 51歳 : **北条時頼に招かれて菩薩戒を受け、**

宋船制限・ ・ ・ 1254 = 52歳 : 鎌倉の壽福寺に住し、

・ ・ ・ ・ ・ 1255 = 53歳 : **\*東福寺の落慶供養に当って帰山し、以後住する。後嵯峨上皇に大乘戒を授ける。**

**北条時頼出家**1256 = **54歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 1257 = 55歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1258 = 56歳 : **將軍宗尊親王の命を受けて、建仁寺を復興し十世となる。東福寺仏殿を修造。**

**北条時頼没**・1263 = 61歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1265 = **63歳** :

**北条時宗執権**1268 = 66歳 :

**蒙古対馬来航**1269 = 67歳 : 東大寺(大勸進職)幹事となったほか、

天王寺と尊勝寺の幹事となり、法成寺の大殿を造るなど、**古代仏教の復興にも尽力した。**

日蓮佐渡配流1271 = 69歳 : **ようやく東福寺の伽藍が完備。**

・ ・ ・ ・ ・ 1273 = 71歳 : **龜山天皇に菩薩戒を授け、**

**元寇文永の役**1274 = **72歳** :

元使斬殺・ ・ ・ 1275 = 73歳 : **龜山上皇に儒教・道教・仏教を進講するなど、**

**\*公武社会の帰依を一身に集め、禅宗発展のうえで大きな足跡を残して、**

異国降伏祈祷1280 = 78歳 : 常楽庵に退去し、**寂した。**

著書に「聖一國師語録」がある。1311年に聖一國師と勅讓された。その門派を聖一派といい、東福寺を中心に五山の主流派の一つとして大いに栄えた。